

# うめナビ

2018.10  
Vol.79

## 集合住宅改修工事の先駆け 江戸時代から続く老舗の技量と お住いの皆様への心遣い

ヤマギシリフォーム工業



同社を率いる山岸大輔社長

ヤマギシリフォーム工業（品川区東品川、山岸大輔社長、03・3474・2900、<http://www.ymgs.co.jp>）は、集合住宅を中心とする建物外壁改修工事の専門業者であり、嘉永年間（1850年頃）まで遡る老舗だ。当時は諸大名の駕籠塗専門の漆塗り職人だったという。油性のペンキが渡来した明治時代から、ペンキ職人としてさまざまな歴史的建造物の塗装に携わる。大正6年に法人創立後、昨年100周年を迎えた。官庁関係の塗装工事やゼネコンの下請けとしての新築塗装工事を手がける一方、特に1970年代からは「集合住宅の改修工事」という当時は前人未踏の分野に挑んできた。

現在は事業のほぼ100%が集合住宅の改修工事関連となっており、豊富な経験とノウハウでお客様のニーズにお応えしている。ま

た、社会的資産とも位置付けられる集合住宅の改修に携わることで、不動産資産の維持保全および価値の向上に努めるとともに、ミャンマー連邦共和国など東南アジア出身の人材を受け入れ育成し、建設業の人材不足問題に取組み、地域社会に貢献している。

同社が特に心がけているのは「居住者の皆様が日常生活を送っている集合住宅で行う工事である」ということだ。「お客様に高品質な施工をご提供することはもちろん、お住いの皆様への日々の心遣いを意識し、障りなく工事を進めることを常に心がけています。この仕事のプロフェッショナルとして、施工においても日々のふれあいにおいてもご満足いただけるよう、最善を尽くしてまいります」と山岸社長は語る。

今年1月から3月にかけて、城南信用金庫品川支店を旧東海道沿いの江戸風情を再現した街並みにマッチさせるための改修工事を行った。同社創業当時の江戸の活気が伝わってくるような、建設「サービス」業者としての手腕が滲む仕上がりである。



旧東海道の賑わいを感じさせる店構えに

## 都市に新たな緑を創出する 建物の屋上や屋根、壁… 人工地盤を植物で覆い、環境を改善

クレアテラネットワーク

クレアテラネットワーク（世田谷区松原、柳田友隆社長、03・5300・2722、<http://www.createrra.co.jp>）は、屋上緑化や壁面緑化など特殊な緑化施工を専門に請け負い、30年以上の実績を持つ企業である。

屋上緑化は、国や行政などが義務付けや助成金制度などを設けて、積極的に推進しているところだ。都市部のヒートアイランド現象の原因である放射熱の軽減、植物による空気の浄化、蒸発散による周辺の温度低下、生態系などの環境改善、建物の室温を下げる空調電気代の節約、紫外線や温度変化から建物を保護するといった各種効果が期待できると言われている。

同社の強みは、長年の実績に基づいたノウハウと、自社商品での施工によるコスト競争力、設計提案から施工までの責任施工体制、また、土壌の分析や基盤調査、樹木診断業務を手がけている親会社の技術的なバックアップ体制にある。そうした強みを活かし、中小企業ながら、大手ハウスメーカーや大手ゼネコン、防水メーカーなどと、技術的な共同開発・業務提携も行っている。

個人住宅の屋上からマンションなどの大規模な屋上まで、幅広く対応可能である。さらに、既存の屋上緑化の改修や、外構植栽の自動灌水工事だけのご要望も近年増えており、植木屋さんでは対応が難しいようなお困りごとがあれば、ぜひお気軽にご相談いただきたい。



<p>商社 8先</p>	<p>スーパー・小売・百貨店 30先</p>	<p>メーカー 15先</p>	<p>マスコミ・出版 32先</p>	<p>教育(大学・専門学校) 33先</p>	<p>官公庁 36先</p>	<p>ホテル 9先</p>	<p>金融 51先</p>	<p>建設・不動産 14先</p>	<p>システム関連 9先</p>	<p>その他 42先</p>	<p>合計 <b>279先</b></p>
------------------	----------------------------	---------------------	------------------------	----------------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	---------------------------

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

# ソフト開発会社が仕掛ける空間デザイン 「早い」「安い」「簡単」な プロジェクションマッピングを提供

Crest

Crest (世田谷区太子堂、橋本敏邦社長、03・3418・5993、<http://www.crest-co.jp>) は、業歴34年のソフトウェア開発会社である。

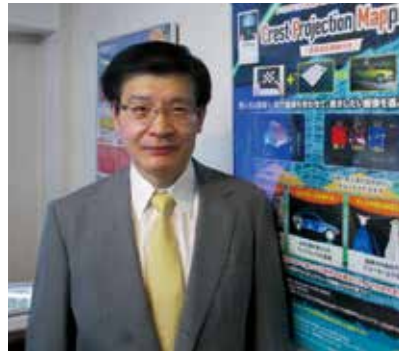
映像制御ソフト開発をきっかけとして独自に開発したシステムが、プロジェクションマッピングサービスの映像作成、機械設置、実施まで一連のサービスをパッケージにした【CPMap】(<http://www.cpmap.jp>)だ。平成27年に新規事業として立ち上げた。

【CPMap】最大の特長は、「早い」「安い」「簡単」

最初の打ち合わせから最短1週間で実施可能な短納期、35万円からという従来の1/3以下の低価格、プロジェクタの電源を入れるだけという運用の簡単さを実現している。自社開発のマッピングソフトを使い、WEBなどで販売さ



同社独自システム「CPMap」の投影事例



橋本敏邦社長

れている映像を使用することで時間・費用を削減、メディアプレイヤーとプロジェクタで投影する際の専門知識やオペレーターも不要で実施することができるとのことだ。また、ソフトウェア開発業の強みとして、音声反応や動態検知などのインタラクティブな機能と組み合わせた参加型プロジェクションマッピングも可能となっている。従来の大規模で高額な経費が嵩むシステムではなく、中小規模でも多くの人に楽しんでもらえるコンテンツの提供を追求し続けている同社。今までの運用事例もホームページで公開しているの、ぜひ一度【CPMap】で検索・アクセスいただきたい。

他社で検討したものの費用や運用面で断念した方や、新しいイベントを低予算で企画したい方など、ぜひお気軽にお問い合わせください。

# 何でも手に入る時代だからこそ… 「ガチでいいものを通じて輝く未来を」 物販・流通で価格以上の価値を追求

リミットエイト

平成29年に創業したばかりのリミットエイト(狛江市岩戸南、今井啓太代表取締役、TEL:050・5241・5647、FAX:03・4243・3959、<http://limit8.co.jp>)は、物

販事業を通じて、商品を手にとった人に心から満足してもらいたいという想いのもと、「デジタル家電・化粧品流通業」として、インターネットを通じて中古カメラやスキンケアコスメといった商品の販売を手がけている。

中古カメラは取扱うジャンルが幅広いこと、また商品の状態がそれぞれ異なっていることから、個々の状態を詳細に分かりやすく説明するよう心がけている。

また、化粧品関係については、ライザップグループの健康コーポレーション株式会社の商品を代理店として取扱っており、美顔器洗顔料の販売を行っている。中でも、発酵の力で素肌をやわらかくほぐすお米成分「米麹エキス」と



“ほぐし洗顔”で透明やわらか肌へ  
ヒット商品『どろあわわ』

中古カメラは  
同社が販売する  
主力アイテム



「米ぬか発酵エキス」に泥の汚れ吸着力を合わせた新発想の洗顔料『どろあわわ』は、濃密な泡立ちと潤う洗い上がりで若い女性を中心に大ヒットとなっている商品である。インターネットを通じて小売業は年々伸び続けている業種だが、実店舗とは違った販促活動がポイントになる。集客やマーケティングなどのノウハウを蓄積・活用して、今後もインターネット販売で「本場によい商品」の魅力を伝えていきたい。

# 「しっぽの先まであんこが入ってます！」 和菓子のプロフェッショナルが 提供するあんこの魅力

芭蕉庵

芭蕉庵(横浜市鶴見区栄町、佐藤正社長、雑色商店街店…03・3739・3027)は、雑色商店街でたい焼き屋、京王百貨店(新宿店、聖蹟桜ヶ丘店)と丸井(国分寺店)で今川焼屋の計4店舗を展開している和菓子屋である。店舗販売のみならず、京都の銘菓「八つ橋」の製造や浅草の老舗和菓子屋への製品供給実績を有するなど、文字通り和菓子製造に関するプロフェッショナルだ。

そんなプロの和菓子屋たる想いを体現しているのが、雑色商店街で販売している「しっぽまであんこが入ったたい焼き」である。お手頃価格に反し、文字通りずっしり詰まったあんこのおかげで、食べる前から小豆の濃厚な香りが漂ってくる自慢のたい焼き。雑誌にも取り上げられている同社の看板商品である。

あんこへのこだわりはデパ地下でも遺憾なく発揮されており、京



同社オリジナル  
「栗まんじゅう」



京王百貨店新宿店の今川焼を求めてできる行列



看板商品! 「しっぽまであんこが入ったたい焼き」

王百貨店新宿店では行列のできる今川焼として知られる。出店の入れ替わりが激しく、「激戦地」で知られている百貨店のデパ地下において、25年以上にわたって営業を続けている「老舗」なのだ。店頭では、たい焼きや今川焼だけでなく、豆大福や草餅などのスタンダードな和菓子をリーズナブルに提供している。特に栗まんじゅうは同社のオリジナル和菓子で、まんじゅう1個に栗をまるまるひとつ使用している贅沢な逸品。人気を博している。和菓子のプロフェッショナルがお届けするあんこの魅力をぜひご賞味ください。

# 日本のものづくりに必要な不可欠 高度なめっき技術で 産業機器の進化を支える

エコプレイティング

エコプレイティング（大和市深見西、久保内茂代表、046・263・5135、<http://www.ecoplating.co.jp/>）は、平成14年1月にコネクタメーカーである（株）クエイザーシステムの子会社としてスタートしてから平成21年に独立した。半導体検査装置や自動車エンジン制御部品などの産業機器用コネクタピンのめっき加工を主業としている。

そもそも「めっき」とは、数ある表面処理技術の中でも代表的なもので、具体的には金属材料などの表面に、金属質の「膜」をつけることである。はんだ付け性や、電気抵抗、接触抵抗などの機能を付与するための技術で、日常生活でも「めっき」とまったく無縁で過ごすのは難しいほど多用されている。同社は、精密コネクタに使用されるNi-Pd-Au-CoのめっきのみならずNi-Pd-Auの三層めっきも得意としており、さらにめっき加工後処理の薬品を塗布する工程も、顧客の要望や仕様に合わせて各種の後処理剤の塗布に対応している。そんな細やかさと、町工場ならではのスピーディーな対応、高度な技術力で大手コネクタメーカーからも高い信頼を得ている。

また、同社の強みとして、特にコネクタピンのめっきで使用される微細なフープめっきに注力しており、わずか3mm程度のコネクタピン本体に0.1mm単位でめっき幅をコントロールできる加工技術を持っている。そんな希少技術を持つ同社に対し、いっそう高度な機械化や検査対象物の超微細化が加速する近年では、微粒子や繊維がまったく付着しないめっきを行えないかといった要望も多く、現在開発中である。これが実現すれば、付着を一切許さないコネクタピンのめっき加工の受注が可能になり、全国的にも珍しい革新的な技術が誕生することになる。

めっき加工のご依頼をぜひ検討してみたいかがだろうか。



微細な部位にまで發揮される同社のめっき技術

# 羽根つき餃子をはじめ 種類豊富な本格中華 普段使いにもお勧め！

春香園蒲田店2号館



春香園蒲田店2号館（大田区蒲田、八木勝人代表取締役社長、03・3737・6658、[www.harukigyo.jp/stj001194977/](http://www.harukigyo.jp/stj001194977/)）は大田区の京急蒲田商店街「あすと」に佇む中華料理店である。

東京都出身の八木社長は平成10年生まれ。料理に興味を持ち始めたのは、幼少期、叔父がつくった料理に驚嘆し、自身も料理で人を感動させたいと思ったことがきっかけという。両親が営む中華の老舗「春香園」の厨房を手伝い、高校時代には調理を担当。専門学校で調理の基本を学び、卒業後「春香園」に入店して店舗経営も経験し今年独立した。開業した2号館では、店主兼料理人として腕を振るっている。



若くても腕は確か！八木社長

「春香園」の姉妹店であるため、本格中華の多彩なメニューが味わえる。まずオーダーしたいのは、名物「羽根つき餃子」。羽根つき餃子発祥の地と言われる蒲田の「餃子四天王」春香園の味を継承した焼き餃子は、軽やかな羽根がお皿からはみ出るほどに広がっている。さらに手作りの皮のもちつとした食感やあふれる肉汁の旨みはまさに格別！あつさりとお食べやすい味わいで、箸が止まらない。

店内1階から3階まで個室やテーブル席、座敷席、カウンター席が完備され、仕事終わりに餃子を肴に呑むのもよし、ボリュームある定食でランチタイムのお腹を満たすのもよし、さまざまな場面で気軽に中華料理を楽しめる。また、円卓を囲む高級感あふれる個室は接待やお祝い席に最適だ。おひとりさまでもご家族でも：温かな雰囲気心地よい、とびつきりの中華店がまた蒲田に誕生した。



多彩な本格中華を存分にお楽しみください！

# 「人と動物の絆」を守る ホームドクターをめざして 散歩の途中で一休みできるサロンに

JOY動物病院



HABを大切に、コミュニケーションを重んじる九鬼院長

JOY動物病院（世田谷区東玉川、九鬼正己院長、03・6425・9977、<https://joy9.jp/>）は、東急東横線田園調布駅から徒歩7分の住宅地にある動物病院である。玄関先に並ぶ色とりどりの草花が植えられたプランターや木目調のドアなど、一見隠れ家風のカフェのような。待合室もご家庭のリビングでくつろいでいるような居心地のよさだ。

九鬼院長は「動物と一緒に生活しているご家族の方が不安なく暮らせるようにお手伝いし、社会に貢献すること」という経営理念のもと、日々の診療にあたっている。

人が犬や猫と生活し病気になるれば心から心配して病院に連れていくのは、「ヒューマンアニマルボンド（HAB）＝人と動物の絆」があるからだ。家族のように動物と触れ合うこと

で心身の安定を図るアニマルセラピーの一環としても、HABの考え方は注目されている。獣医師は最初のコンタクトでご家族と動物とのバックグラウンドについてどれだけ詳しく知ることができかを重要視し、高いコミュニケーションスキルを駆使しなくてはならない。

「動物病院は敷居が高いと敬遠されている方も多いと思いますが、当院は散歩の途中で立ち寄って遊んで帰るサロンのような存在をめざしています。人が今まで動物と暮らすことを望み癒されていると感じてきたように、動物も心地よく感じ人と一緒にいたいと思ってくれるよう、私たち獣医師はそんな人と動物との見えない絆を守りサポートするために存在しているのです」と九鬼院長は語る。



リビングのような居心地のよい空間づくりをめざしている

# 再生可能エネルギーと IoT農業で地方をリデザイン 「スマートアグリファームプロジェクト」

グリーンリバー  
ホールディングス

グリーンリバーホールディングス（東京オフィス：千代田区神田須田町、長瀬勝義代表取締役CEO、03・5289・7318、<https://www.greenriver-hd.co.jp/>）は、福岡県と東京都に拠点を置く太陽光発電所施工事業者であり、農業を手がけるベンチャー企業でもある。太陽光発電所施工を主とした再生エネルギー事業では、独自の特許工法を活用し、700MWを超える発電所建設に携わり、農業事業では、縦型水耕栽培装置による太陽光利用型植物工場（特徴的な栽培方法とIoTを利用した次世代型農業）を開発し、日本全国で展開している。

近年は農業事業に注力し、耕作放棄地および耕作放棄ハウスの問題に着眼。高効率な栽培方法を実現し、高収益で簡略化した農業の新しいスタイルを全国各地で提案している。現在の主要生産物はハーブの「スイートバジル」である。イタリアンやフレンチ、東南アジア料理、エスニック料理にも多用される香草で年末に需要が高まる傾向ながら、冬季の栽培が難しく市場に多く流通していない。しかし、同社グループは再生可能エネルギーと独自技術を活用して「スイートバジル」の周年栽培に成功し、安定供給を可能にした。生鮮品は既に大手流通会社をはじめ、飲食チェーンや都内ホテルでの取扱いが始まっている。生産物の6次化にも積極的に取り組み、「スイートバジル」を使用したさまざまな

商品の販売を近日開始する。「スマートアグリファームプロジェクト」から生まれた生産物や商品、取り組み・事業参加などについて興味のある方はぜひご連絡ください。



私たちとともに、  
再エネと農業を中心とした  
地方のリデザインを！



通年栽培が可能になった「スイートバジル」。関連商品開発も進めている



# 静電気応用技術の第一人者 高圧電源を小電力化した 静電気で「困った」課題を解決

グリーンテクノ

グリーンテクノ（川崎市高津区子母口、田中實社長、044・755・2431、<http://www.green techno.co.jp/>）は、創業以来電気・電子制御・メカトロ機器の開発・製造を通じて社会に貢献してきた。現在では、警察の遺留物採取や学校の学習教材として静電気応用技術を提供しており、省資源・無公害関連の高品質な同社製品は多くの業界から評価・注目を得ている。平成27年度にはかわさきマイスターの認定も受けている。

一般的に、静電気は「嫌なもの」とイメージされ、静電気除去装置の開発技術が進んできた。しかし、同社は発想を転換させ、静電気を除去するのではなく発生させ活用することで、大きなビジネスチャンスになるのではと考えた。そして、粉体装置と呼ばれる、静電気力で金属に細かな粉末状の塗料を付着させる塗装方法を確立した。溶剤塗装と遜色なく均一塗装ができ、かつ溶剤を使用しないため環境に優しい塗装技術として注目されている。

この静電気力による金属への吸引性を応用し、金属以外のあらゆるモノへの植毛や食材に付着した目に見えない不純物を静電気を取り除くなど、帯電技



同社の静電気活用技術が学校用教材にも

GC25B 電池式帯電ガン

静電気力による金属への吸引性を応用し、あらゆるモノへの植毛や食材に付着した目に見えない不純物を静電気を取り除くなど、帯電技術の開発を進めている。

「技術開発は『何で？』から始まります。そして『困った』は当社にとつての財産です」と田中社長は語る。皆様の「困った」課題を解決するヒントを静電気技術が握っているかもしれない。今までなかった発想の転換がキーワードになる。「静電気」へ「帯電」で検索すれば、同社ホームページやYouTubeで公開している静電気技術の動画を「ご覧いただける。その「困った」課題、同社とともに解決してみませんか？」

# 長距離トラックドライバーの労働環境を改善 新発想の薄型輸送用パレットで ドライバーを荷役作業から解放！

アドバンスド・ロジックジャパン

超薄型パレットで

PassBorder® (PAT)

アドバンスド・ロジックジャパン株式会社  
ADVANCED LOGI-TECH JAPAN CO., LTD.

平成28年に創業したアドバンスド・ロジックジャパン（大田区羽田旭町、平田幸弘社長、03・6404・6956、<http://kanto.me/adv-logitech/>）は、自社開発した新発想の輸送用薄型パレット「パスボーダー」を発売し、長距離トラックドライバー不足の解消を目標に、パレット輸送化の促進に取り組んでいる。

私たちの生活を支える長距離トラック輸送は深刻なドライバー不足に苦しみ、ドライバーが確保できないために廃業に追い込まれる小規模運送会社が後を絶たない。高齢化による自然減に加え、成り手の減少が原因と言われている。希望者が減っているのは、貨物の積み下ろしの多くが未だにドライバーの手作業とされているからだ。重労働に加え、作業に時間がかかるため、安全運行に必要不可欠な時間的ゆとりの確保が難しくなってしまう。

トラックドライバーを積み下ろし作業から解放できる方法のひとつがパレット輸送である。貨物をパレットと資材に積み付け、フォークリフトによりパレットごと積み下ろしする方法だが、①パレット自体の容積・重量により貨物の積載量が減少する、②出荷先からパレットを戻す手間やコストがかかる、③出荷先からのパレット返却が不確実などの問題があった。

同社のご提案する「パスボーダー」は厚さ僅か3cm！導入テストによるメリット確認を踏まえて実用化、ドライバー問題解決に有効と注目されている。

製品の価格に跳ね返りやすい輸送コストの上昇とトラックドライバーの就労条件整備は、相反する難問である。ドライバーの労働環境を改善し手が増えるよう、パレット輸送化の定着をさらに推進していく。